



日本のサービスイノベーション 2022

## Visual Identity Guidelines

日本のサービスイノベーション  
ビジュアル・アイデンティティ・ガイドライン

ver. 1 (2023.3)

ブランドロゴマーク



日本のサービスイノベーション2022

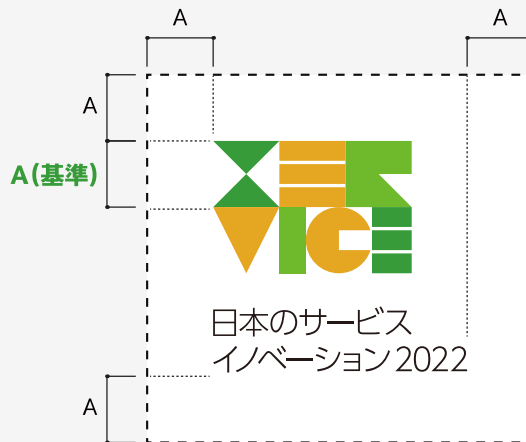


日本のサービス  
イノベーション2022

## アイソレーション範囲

ブランドロゴマークの表示にあたっては、その象徴性や訴求効果の面から、その周囲に文字や図形などその他の要素がない状態が理想的です。

アイソレーションとは、それらの周囲の要素からブランドロゴマークを隔離し、独立性を確保するために設定された余白の基準です。下で示しているのは、ブランドロゴマークの周囲に確保すべき最小限度の余白スペースですが、実際の表示にあたっては、可能な限り基準以上のスペースを確保するように配慮してください。



## 使用最小サイズ

ブランドロゴマークを小さなサイズで使用する場合、つぶれなどが生じ、イメージを損なうことがあります。  
このため再現上の限界から最小サイズを定めています。



## ブランドカラー

独自の特定色をブランドロゴマークのカラーとして定め、ブランドイメージを統一的に表現していくことで、ブランドイメージを形成し、効果的に伝達することができます。

このブランドロゴマークのカラーは、特定されている色に忠実に再現されてこそ最大の効果が期待できるものですが、素材・作業条件により、必ずしも特定の色を確保できない場合があります。その場合ある程度の濃度誤差は仕方ありませんが、色相（色味）に違いが生じないように注意してください。

### Green

R:56, G:167, B:56

C:75%, M:15%, Y:100%

HEX:#389D38

### Yellow

R:230, G:167, B:34

C:10%, M:40%, Y:90%

HEX:#E6A722

### Light Green

R:111, G:186, B:44

C:60%, Y:100%

HEX:#6FBA2C



## カラー

使用色が制限されているなど、単色で表現をしなければならない場合に使用します。

### Black

R:35, G:24, B:21

K:100%

HEX:#000000

### Light Gray

R:114, G:113, B:113

K:50%

HEX:#9FA0A0

### Gray

R:159, G:160, B:160

K:70%

HEX:#727171

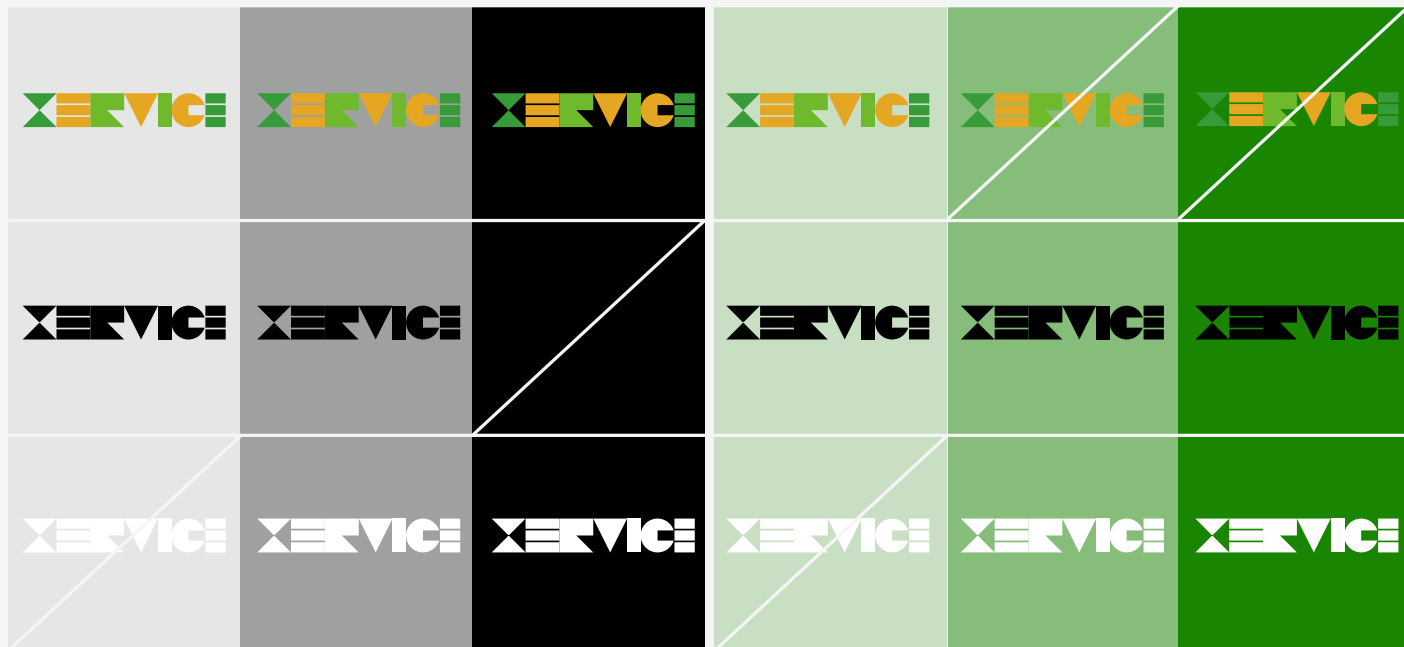


## 視認性の確保

ロゴの表示色は、カラーと単色表示を、様々な展開物において、みなさんが自由に選択できます。

右図は、白以外の様々な濃度の背景色（または写真など）にロゴを表示する際のイメージを示しています。背景色の濃度によっては、ロゴの視認性が悪いため、表示できないカラー展開もあることに留意してください。

視認性が保たれているかどうかをチェックし、適切なものをご使用ください。



## 禁止事項

ブランドロゴマークは、基準に従い正しく使用された場合においてのみ、その機能を十分に発揮することができます。

ここに示した禁止例のような表現は、ブランドロゴマークの個性やインパクトを弱めたり、識別性を損ね、見る人に誤ったイメージを伝えてしまうことになるので、絶対に避けてください。

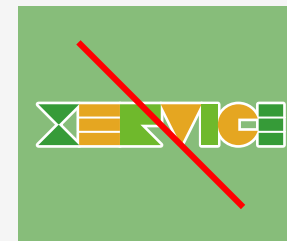
ここでは最低限守るべきルール、間違いやすい規定違反例を示します。



アウトラインで表現してはならない



マークを変形してはならない



フチをつけて表現してはならない



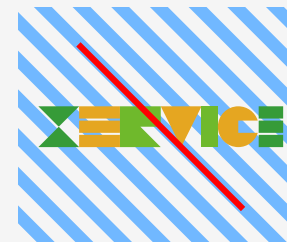
規定の色以外で使用してはならない



影などの表現をつけない



不適切な解像度で使用しない



識別性を損ねる強いパターンなどの背景に表示してはならない



識別性を損ねる写真・イラスト等の背景に表示してはならない



## お問い合わせ

ブランドロゴマークに関するお問い合わせは下記までお願いします。

公益財団法人 日本生産性本部

サービス産業生産性協議会 事務局

E-mail: [service-js@jpc-net.jp](mailto:service-js@jpc-net.jp)

〒102-8643 東京都千代田区平河町 2-3-12

TEL: 03-3511-4010